

平成10年11月20日発行

上智大学英語学科同窓会  
東京都千代田区紀尾井町7-1  
上智大学英語学科事務室気付**Sophia English Language Department Alumni Association****エセックス便り**

英語学科助教授 東郷公德

皆様お元気ですか。待ちに待ったサバティカル。1年間の研究休暇を頂いて、英国はコルチェスターにあるエセックス大学にやって来ました。コルチェスターはロンドンから北東に100キロメートルほど離れたところにある小都市です。歴史は古くローマ時代にまでさかのぼり、「英国史上最古の都市」というのが観光案内のうたい文句です。街には今でもローマ時代の城壁が残っています。

大学はその南の郊外1マイルほどのところにあります。とてもどかな田舎です。広大なキャンパスにはウサギやリス、カモなどがたくさんいます。キツネもいるそうです。ここで来年の秋までの1年間、社会学の大学院で勉強してMAを取る予定です。テーマは「セクシュアリティの社会史」です。この分野ではエセックスの教授陣は他に例のないほど充実しています。キャンパス内の書店でもこの分野の本の棚は品揃えが豊富で、ケンブリッジの大型店より充実しているくらいです。ここに来てよかった、と幸せな気分になっています。

大学院の授業は10月からで、この原稿を書いている9月22日現在は、僕は本番前の準備コースに出席しています。久しぶりの学生生活はとても新鮮です。内容は主に英語の力を高めるためのものと、論文作法など、具体的な学習方法についてです。こちらの先生方の教育方法はとても刺激的で毎日たくさん学ぶことがあります。いろいろな授業のやり方を覚えて、上智に戻ったら自分でも試してみたいと思っています。10月から始まる専門の授業が楽しみです。

一家5人でやって来たので、大学のそばの村に家を借りて、中古のイギリス車を買いました。上の子供ふたりは地元の小さな小学校に通い始めました。普通のイギリス人の生活もいろいろのぞいてみたいと思っています。

SELDAの執行部も新しくなりました。本当はもっとSELDAのことを書くはずだったのですがスペースがなくなりました。蔵田会長ごめんなさい。聞くところによると、SELDAのWEBサイト開設を準備中とか。楽しみです。これからはぜひインターネットでも交流を深めましょう。僕にもメールを下さい。日本語で大丈夫です。アドレスは、ttogo@essex.ac.ukです。

では、皆さんお元気で。これからもSELDAをよろしく願いいたします。

★SELDAホームページ開設のお知らせ★

SELDAのホームページを作ろう！との新会長の方針で、SELDAのWEBサイトを開設することになりました。URLは次の通りです。

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~seldaa/>  
このWEBサイトからいろいろな情報を発信していきます。



## 「英語学科卒の悲哀」

トランステクネ・インターナショナル(株)社長

Philips Technologies 社在日代表

鈴木 達也 (昭和38年卒)



1965年に初めて出掛けたデンマークで買い求めた3本のパイプが、それまでタバコを全く嗜まなかった私を虜にし、以来30余年タバコとパイプを追い求め、更に喫煙史にまで首を突っ込む端緒になったのである。

1984年以来、国際パイプ・クラブ委員会の副会長を務め、1990年にはブライアー・パイプのメッカであるサン・クロード(仏)のパイプ・マスター・コンフレリーの名誉会員に推され、更に国際パイプ・アカデミーの終身会員に推挙されて本邦のタバコ・喫煙傳來史の小論文を提出する事になってしまった。それまで主にイングランドのパイプ喫煙史文献の収集をしてきたのが、急速本邦傳來史に転向する事になったのである。

ところが、着手して驚いた事に、19世紀に入ってから刊行された大槻玄澤や清中亭叔親の著書、あるいは19世紀の英国人外交官、Sir Ernest M. Satow がThe Asiatic Society of Japanで発表した論文『The Introduction of Tobacco into Japan』、更に20世紀に入ってからには宇賀田為吉氏による『世界喫煙史』な

どの著作、そして1942年に上智大学の「Monumenta Nipponica」に発表されたものの近年まで注目されなかった、フランシスコ会の Von Dorotheus Schilling, O.F.M.による論文『Der erste Tabak in Japan (日本最初のタバコ)』の他にはめぼしい文献は見当たらないのである。

Schilling師による「Monumenta Nipponica」の論文はキリシタン文書による新事実の解明とタバコ傳來史研究の新しい方向付けを示唆したものでありながら、ドイツ語による論文という事もあって、近年まであまり取り上げられなかったのは極めて残念な事である。タバコの本邦傳來が南蛮交易と結び付いていた事は広く認められていたにも拘わらず、我が国の傳來史研究がキリシタン史や対外交渉史或いは欧州のタバコ傳來史に及んでいなかったのである。

この空白を少しでも埋めようとする意図で『本邦喫煙傳來史考』を書き始めたのだが、既に存在する多くの定説が余りにも根拠に乏しく、個々の事例を改めて考察する必要に迫られたのである。必然的にキリシタン史あるいは対外交渉史に首を突っ込む事になってしまった。

幸いな事に上智大学グリー・クラブで一緒に歌った仲間の五野井君(文学部史学科40年卒、現東京大学教授)が東大史料編纂所のキリシタン史の大御所である事から、資料の探索や多くの助言を得る事が出来た。

厄介なのは、我国の資料の多くは漢文による古文書であり、キリシタン史関係の文書はポルトガル語やスペイン語で書かれているものが多く、既に英語や日本語に翻訳されていない限り辞典片手の悪戦苦闘を強いられる事である。他学科の卒業生が英語を良くするのに較べて、英語学科卒は一般的に他の言語に極めて疎く、学生時代の不勉強さを嘆くばかりである。第二外国語でスペイン語、ラテン語、ドイツ語を少々囁いたものの、何語であるかの判別がやっと出来る程度であるから、僅か一頁のスペイン語の翻訳に何日も掛ける事になる。本業の会社経営も疎かには出来ず、就寝前の僅かな時間と週末や休日は専ら書齋に籠もる生活がこの数年続いているのである。

これまでに四百頁程書き終えたが、新しい事実の発見も含め、これまでの定説の幾つかを覆す事が出来たと自負している。しかし、外国語学部卒でありながら多少使えるのは英語だけという情けない現実を改めて認識させられたのも事実である。

英語学科卒の悲哀は毎年ヨーロッパで開催される二つの国際会議、即ち国際パイプ・アカデミーの年次総会と国際パイプ・クラブ委員会の理事会でも味わう事になる。圧倒的に多く使われるのはフランス語で、外国語に弱いとされる英国と米国の代表でさえフランス語を自由に操るのである。自国語と英語しか使えぬオーストリーやドイツの代表同様に、七カ国語を操るスイス人を常に側に置く事になるのである。英語一カ国語だけで何とか事足りるのはビジネスの世界だけである事を思い知らされたのだが、ビジネス万能で“教養”の栄養失調が目立つ日本人が跋扈出来る時代はもう過ぎたと云うべきであろう。

このところ、英語学科の入学者に英語が使える帰国子女が増えている事を聞くと、何かが違っていると考え込まざるを得ない。英語を世間並み以上にはこなせる他の外国語学科に対して、英語学科では少なくとも、もう一ヶ国語は必須科目として取り上げる必要があるのではなかろうか。決して自己の不勉強さを正当化するつもりはないが、英語学科の弱点の一つであるこの問題は、学科として是非検討して欲しい課題である。

## 「ファッションの専門家を目指して…」

川村 由仁夜 (昭和60年卒)

英語学科を卒業後、専門学校で3年間服飾デザインを学び助手生活を経て、渡米しました。ニューヨーク州立ファッション工科大学(FIT)で技術を磨きアパレル業界で経験を積み2~3年で日本に戻る予定が、いつの間にか今年で10年経ってしまいました。現在はデザイン製作の傍らコロンビア大学社会学科でPh.D.論文(題名: Legitimation of Fashion)を執筆すると共に、母校FITでファッション文化論を取り入れた社会学を教えています。今年2、3月にはコロンビア大学内のギャラリーで初の作品展を開きました(写真)。今後も研究生生活を続けながら、地道にデザイン作品を発表していきたいと思っています。

在学中にしばしば双子に間違われていた同学科卒業の姉(麻夜)も、私の半年後にニューヨークに来ることになり、現在はこちらで貿易会社を経営しています。

日本には休暇で年に一度は帰っていますが、大学時代の仲間と会う機会が少なく残念です。皆様、お元気ですか。

(E-mail: yk65@columbia.edu)



## 卒業生短信

7月末までに事務局に届いたお便りを掲載いたします。(本文中では敬称を略しております。また、掲載量が多く、文字が小さくなってしまいました。何卒ご了承ください。)

SELDAA会報で皆様の短信を読ませて頂き、一つの発見をしました。多くの方が転職や脱サラ、自営の会社設立をなさっておられる事です。日本もアメリカに近づいてきたようです。私は1983年からアメリカに住んでおり、初めの一年はニュージャージーでしたが、1984年からはずっと当地シカゴの郊外に住んでいます。主人は昭和38年から43年まで上智で英語を教え、夜は国際部の学生に日本語、日本史を教えていました。その後、主人はサラリーマンとなり、台湾、韓国、そしてまた東京と、度々転勤し、会社もChemical Bank、Citibank、そしてContinental Bankと転々とし、今はセミリタイアです。その代り、私は商工業不動産のセールスの仕事を12年前から続け、1998年1月をメドに会社を設立します。シカゴ辺りでのソフィアンの連絡係も非公式にやっていますので、シカゴに来られる方はぜひご連絡ください。電話は(847)945-2623です。

Rohan 賀代子(旧姓 佐藤)(昭和42年卒)

昭和48年に卒業して、英語塾をしながらいろんな習い事をし、結婚しました。下の子が2才前になった時、祖父のしていた保育所のを継ぐことになり、2年間事務員をして、31才で所長となり、現在に至ります。保母資格も2ヶ月勉強して受かりました。

よく知っている人から、上智の外英を出たのにもったいないと言われますが、私自身は、乳幼児の時の教育が一番大事だと思いますし、毎日コンピュータやワープロも相手にしていますが、かわいい子供たちとふれあうのがとても楽しく、がんばっています。様々な保護者がいて苦勞することもあります。未来ある子供を少しでも健全に発達させていこう、職員たちと協力して、保育内容を充実させています。海外(カナダ、アメリカ、フランス、イタリア)の保育所も多く視察して勉強しました。勿論英語が役立ちましたよ。近況は紙面上詳しくは書けませんが、大学を卒業してからの、私の人生です。

藤井 資恵(旧姓 青木)(昭和48年卒)

早いもので母校を卒業して20年!時のたつのはこんなに早いとは信じられぬ思いです。英語学科では心理学の副専攻をとり、母校を卒業と同時に米国西バージニア大学院に留学。1985年に大学院を終了し、3年間バルチモアのジョンズ・ホプキンス大学院で教育心理学を教え、89年よりはメリーランド大学のカウンセリン

グ・センターで臨床心理師として学生の子精神衛生・教育相談にあたっています。振り返ってみるに、上智大学英語学科で受けた教育は文字通り最高。一般教養、英語学の知識のみならず、真の常識ある国際人としての基礎を築いてくれました。グローバリゼーション(地球化)の真中にある現在、母校・英語学科の果たす役割はこれからもっと拡大していくと信じます。お世話になった草深先生、吉田先生、Nissel神父様、他、皆様様に感謝にたえません。英語学科と上智大学のこれからのますますの発展を心よりお祈りしております!

大谷 彰(昭和53年卒)

1997年の8月1日にアメリカ・シカゴにあるトリニティ神学校から宣教師になるための勉強を終えて帰ってきました。私は1980年に上智大学の交換留学制度で一年間ニュージーランドのオークランド大学へ留学したときにクリスチャンになりました。神学は、特に日本では、全く知られていない学問ですので帰国後仕事をさがすのにも役に立たず(これは全世界どこでもそうでしょうが)、まだ両親の家で逆カルチャーショックをいやしています。8年半も日本を離れていたせいでしょうか、日本がとても自分から遠い国のように感じています。習慣や物の考え方もずいぶん国際化して、生活もアメリカよりも便利なところが沢山ある一方、古い日本の習慣や考え方も根強く残っていて、中途半端に国際化しているようにも感じられます。自分の良い所、自分らしさを失わず、かつ他国のことをその国を尊重しながら理解し、互いに影響し合って発展していくためには、もっと積極的に外に出ていこうとする姿勢が日本にとって必要だと思うこの頃です。

井出 典子(昭和58年卒)

卒業後法律事務所で弁護士の秘書として働き始めましたが、これは違うぞと退職し、某情報出版社へ。ヤリガイのある仕事ではありましたが、残業の嵐に疲れ3年で去ることに。何を思ったか、次は調理師の学校に入学し、日本料理店でアルバイトしつつ、“板前”をめざしました。資格はとったものの、生まれつきの不器用が災いし、やっぱり違ったかな? それから翻訳の世界に首を突っ込んでみたり、派遣社員としてあちこちの会社をまわったり…。

そして今、これだ!とうれしく楽しくやっているのが、ホームヘルプサービスのコーディネーターです。カト

リックの社会福祉法人が運営する在宅介護支援センターで働いています。この4月、介護福祉士の資格もとっちゃいました。あと30年はがんばるぞ!?

松嶋 聡子(昭和58年卒)

英語学科一期生として卒業後、バンクーバー聖公会神学校入学、卒業。日系人教会の牧師として、この土地の人となりました。その間、ロサンゼルス、サンフランシスコに17年、また第二の故郷のバンクーバーに戻りました。今の教会は、3分の1が白人、他の3分の1が日系カナダ人、残りが日本人です。日・英両語で祈り、歌い、説教を聞くという、アメリカ・カナダでも非常にユニークな教会です。日本庭園や畳の部屋があり、毎日曜日生け花が生けられ、かざられています。こちらに来られた時は是非お立ち寄りください。電話:(604)879-1344 e-mail: jshozawa@wimsey.com

所澤 基喜(昭和35年卒)

昨年、10年の会社員生活にピリオドを打ち、フリーランスとして翻訳の仕事を始めました。主にビジネス一般、契約書、通信、エレクトロニクス、コンピュータ関係の日英/英日翻訳をしています。自分のペースで、やりたい仕事だけを選んでできるのが、フリーで働く魅力だと感じています。上智時代のネットワークがとても役立っています。

秦 由紀子(旧姓 小椋)(昭和62年卒)

1989年11月に突然の病気にかかり、6ヶ月間の入院治療の末に、右耳の聴力の70%を失いました。左耳は元々ほとんど聴こえず、一時はどうなることかと思いましたが、その後のリハビリと補聴器の助けを借りて、外資系メーカーで営業の仕事をしております。

学生時代にはちっとも身につかなかった英語のコミュニケーション能力も仕事で鍛えられるうちに何とかさまになってくるもんだなぁと感じています。しかし、ドイツ語訛りの英語は聞きにくいものですね。どなたかコツを知っていたら教えてください。

阿部 幹也(昭和53年卒)

8年9ヶ月勤務しました日本航空(株)を1997年12月をもって退職いたしました。外国人のお客様や海外支店とのやりとり、また、IATA(国際航空運送協会)の運賃会議に出席するなど、英語を使う機会はそれなりにあって

楽しかったのですが、しばらくは家庭を第一に、また新たな英語の勉強の機会を模索しているところです。気軽に参加できるセミナーやサークル等がありましたら、情報をお知らせください(特に英語教育に関するものを希望します)。

中泉 由紀(旧姓 中島)(平成元年卒)

会報25号を拝見し、商英サークルのOBの方が2名寄稿されていたのを見て、お詫びの方筆を取りました。同サークルは私の二代後位で消滅したと思いますが、実質的には私の責任です。OBの方々、申し訳ございません。また、吉田先生には仲人までしていただいたのに、すっかりご無沙汰し申し訳ございません。4年生の時の教材、カール・セーガン著「エデンの恐竜」を訳書首っ引きで調べていたのを白状致します。

私の方は、平成元年自動車メーカーを退職後、父の後を継ぎ、墨田区でネジ商社を経営しています。英語とは縁遠い毎日ですが、英語学科の4年間はとても貴重な思い出として残っています。77-51の皆様、元気でやっていますか?

恩田 信一(昭和56年卒)

1995年7月に男の子を出産し、育児のどっぷりの毎日です。本当に自分が大学に通っていたのかしら、と思うことがしばしばあります。今年いっぱい私の大学生活の中で大きな位置を占めていた女声合唱団が廃部になり、これも時代の流れかしら、と少々さびしく思う今日この頃です。

吉田 典子(旧姓 近藤)(昭和62年卒)

Net-Pal 求む! E-mail: CZ112363@nifty.ne.jp, abekaz@mb.infoweb.ne.jp

阿部 一幸(昭和51年卒)

# SELDAA 女性セミナー

女性セミナーでは、毎月一回学内外から講師をお招きして、それぞれご専門の分野の講演をしていただいております。

## 今後の予定

### これまでの開催講座

- 4月22日(水)  
Prof. Saadollah Ghaussy (上智大学比較文化学部教授)  
「The Actual Asian Financial Crisis (and Japan)」
- 5月27日(水)  
Fr. Donal Doyle (英語学科教授)  
「Irish Folklore」
- 6月24日(水)  
Prof. Denny Petite (英語学科教授)  
「Crime and Delinquency in Modern Society: An Examination of its Origins, Explanation and Prevention」
- 7月8日(水)  
岸朝子氏 (料理評論家、料理の鉄人出演中)  
「おいしく食べて健康管理」
- 9月30日(水)  
小笠原祐子氏 (江戸川大学専任講師、昭和58年英語学科卒)  
「日本企業と女性」
- 10月28日(水)  
岡田仁考氏 (上智大学比較文化学部教授)  
「多国籍企業と環境問題」

10:30～12:00 於: かつらぎ  
館 地下1階ホール

11月25日(水)  
村井吉敬氏  
(上智大学外国語学部アジア文化研究室教授)  
「激動のインドネシア」

12月9日(水)  
鮎川ゆりか氏  
(世界自然保護基金(WWF)気候変動担当、  
昭和46年英語学科卒)  
「京都からブエノスアイレスへ」  
(英語による講義)

会費: 3,000円/年、500円/1回のみ、英語学科以外は5,000円/年  
連絡先:

[世話人] 日岡久美子(49年卒)

03-3775-8988

渡辺まかや(49年卒)

045-361-4221

会計: 三好比呂子(49年卒)

03-3348-0285

## 英語学科、最高の出席率 ～48年卒 銀祝パーティー

卒業から四半世紀が経ち、少し丸くなったものの、まだまだgroovyな元青年が再び母校に集まりました。電話作戦や、前夜のはとバスツアーやお泊り企画の付いた女子クラスの出席率は約50%。男子クラスの面々も多忙の中、祝賀会に駆けつけ、御馳走にも目もくれず旧交を温め、皆でFr. Barryとカメラにおさまりました。更に立ち去り難い連中はニューオータニへ流れてゆっくりティータイム。久しぶりに盛り上がった初夏の一日でした。今回残念ながら来られなかった方も、「次は金祝で」なんて言わずに気軽に同窓会に足を運びましょう。待ってます。(銀祝会出席: 門多三恵子記)



## 1998年度定例総会報告

1998年度 SELDAA 定例総会が、今年もオール・ソフィアーズ・デーにあわせて5月31日(日) 正午より、上智大学1-101教室にて開催されました。

冒頭、議長に東郷公徳副会長兼事務局長(昭和62年卒)、書記に安西徳子常任委員(昭和49年卒)を選出しました。

### 【活動報告】

座間由美子会長(昭和43年卒)の挨拶の後、以下の通り、前年度の活動報告等が行われました。

- 1) 東郷公徳事務局長(昭和62年卒)より全般的な活動報告
- 2) 笠島準一 新英語学科長(昭和48年卒)より、新学科長としての挨拶と寄付講座について
- 3) 佐藤誠一郎常任委員(昭和53年卒)より会報編集について
- 4) 安西徳子常任委員より、女性セミナーについて
- 5) 土肥百合子常任委員(昭和48年卒)より、1997年度決算報告について

### 【新会長選出】

座間会長の任期満了に伴う、新会長の選出を行いました。座間会長および常任委員会より蔵田實氏(昭和48年卒)が推薦され、満場一致で承認されました。

蔵田新会長は就任挨拶の中で、今後3年間の任期のうち、会員の連絡システムの整備と SELDAA のホームページの立ち上げについて触れました。また、副会長として、池沢なるみ(昭和48年卒)、大日方聖信(昭和62年卒)両氏を指名、承認されました。なお、大日方副会長は事務局長を兼任することになります。

### 【会計監査選出】

任期満了に伴う会計監査の選出については、岩村礼子(昭和49年卒)、井坂由美子(昭和47年卒)両氏が就任することとなり、本総会で承認されました。

### 【1998年度予算案】

1998年度予算案について、土肥常任委員から説明がありました。会員より、予備費の扱いについて質疑が出され、今後そのあり方や金額について検討するとの回答が蔵田会長より示されました。なお、1998年度予算案は、満場一致で承認されました。

### 【その他】

常任委員会より、かつて英語学科に在籍していた、石鍋賢子さん(昭和56年入学)を推薦会員としたいとの提案があり、満場一致で承認されました。

### 【懇親会】

総会終了後、懇親会が行われました。40名ほどが参加し、母校での和やかなひと時を楽しみました。

## 1997年度 上智大学英語学科同窓会収支決算書

自1997年4月1日 至 1998年3月31日

収入額 19,092,071円

収支額 3,846,078円

次年度繰越金 15,245,993円 (単位:円)

	科目	予算	決算	備考
収入	1 繰越金	12,424,631	12,424,631	
	2 会費	2,000,000	6,576,000	永久会員 262人
	3 受取利息	10,000	91,440	普通預金・郵便貯金・債券
	合計	14,434,631	19,092,071	
支出	1 名簿作成 積立金	600,000	600,000	
	2 名簿関係費	50,000	0	
	3 会報費	2,140,000	2,103,564	編集・印刷料 1,154,274 (税込み) 郵送料 855,810 (切手) 発送料 93,480 (封入・届出し)
	4 女性セミナー	180,000	180,000	
	5 寄付講座	670,000	670,000	
	6 総会費	100,000	65,222	資料作成費・懇親会
	7 会議費	100,000	80,740	常任委員会運営費
	8 事務処理費	150,000	146,552	文書代・通信費・振り込み手数料等
	9 予備費	10,444,631	0	
合計	14,434,631	3,846,078		
			15,245,993	1998年度に繰越(※1)

## 1997年度 上智大学英語学科同窓会 名簿作成 収支決算書

収入額 2,262,829円

収支額 1,318,907円

次年度繰越金 943,922円(第一勧業銀行普通預金)

(単位:円)

	科目	金額	備考
収入	1 繰越金	431,719	
	2 積立金	1,800,000	600,000円×3年分
	3 利息	11,110	
	4 寄付	20,000	
	合計	2,262,829	
支出	1 印刷費	940,800	
	2 リスト・ラベル代	63,600	
	3 発送費	239,200	
	4 アルバイト代	73,207	
	5 送料	2,100	
合計	1,318,907		

## 1998年度 上智大学英語学科同窓会予算

自1998年4月1日 至 1999年3月31日

(単位:円)

	科目	予算	備考
収入	1 繰越金	15,245,993	1997年度より繰越
	2 会費	2,000,000	入会金を含む
	3 受取利息	10,000	普通預金・郵便貯金・債券
	合計	17,255,993	
支出	1 名簿作成積立金	600,000	2000年度発行予定
	2 会報費	2,210,000	会報26・27号分
	3 女性セミナー	230,000	講師への贈礼・交通費・会議室利用料
	4 寄付講座	200,000	講師への贈礼
	5 交流促進費	200,000	ホームページ開設準備等
	6 総会費	100,000	資料作成費・懇親会
	7 会議費	100,000	常任委員会
	8 事務処理費	150,000	文書代・通信費・振込手数料等・消耗品費
	9 予備費	13,465,993	
合計	17,255,993		

## ■異動通知にご協力ください

ご住所、勤務先などに変更があった方、名簿の誤りを訂正される方、お名前の正しい読み方を知らせてくださる方は、英語学科同窓会事務局またはソフィア会までお知らせください。また、住所不明の方が多数いらっしゃいます。消息をご存知の方、情報をお寄せください。

## ■SELDAAより、募集とお知らせ

◆SELDAAでは、皆様より、この会報に載せる記事を募集しています。近況や最近感じたことなど、なんでも結構です。原稿に写真を添えて、あるいは、同封の葉書にご記入の上、お送りください。

◆この同窓会の常任委員として手伝ってくださる方を募集しております。ボランティアで私達と一緒に会を盛り上げてくださる方、ご連絡お待ちしております。

上記に関するご応募・お問い合わせは、お気軽にどうぞ。

連絡先: 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 英語学科事務室気付

事務局長 大日方聖信(おびなたまさのぶ)

TEL.03-3238-3719 FAX.03-3238-3910

E-mail:seldaa@mve.biglobe.ne.jp

## ■会費納入のお知らせ

本会の諸活動は、卒業生の皆様からの会費の納入によって賄われています。同窓会活動のより一層の充実と活性化を図るために、ぜひ会費をお支払い下さいますようお願い申し上げます。

会費の支払い方法には、年会費を支払う「一般会員」と、一括払いの「終身会員」の2通りがあります。初めて会費をお支払いになる際には入会金もあわせてお支払い願います。金額は下記の通りです。同封の振替用紙にて最寄りの郵便局または銀行よりお支払いください。その際、ソフィア会会員番号を必ずご記入ください。

入会金 : 1,000円

一般会員 : 年会費 2,000円 (できれば3年分まとめて)

終身会員 : 一括払い 20,000円

## 《あなたの会費納入状況》

封筒の宛名ラベルの右上をご覧ください。

◆「S」のスタンプが押してあるのは、「終身会員」であることを示しています。

◆「未」のスタンプが押してあるのは、今年度の会費が未納になっていることを示します。

5,000人を超える同窓会会員の会費納入状況のチェックには多大な手間と時間がかかります。チェックの時期と納入の時期が重なったなどのために行き違いがあった場合は何卒ご容赦ください。

## ◆SELDAA 常任委員 (平成10年10月現在)◆

■名譽会長/笠島 準一 (昭和48年卒)

■女性セミナー/安西 徳子 (昭和49年卒)

■会 長/蔵田 實(昭和48年卒)

■常任委員/石川雅弥(昭和40年卒) 斎藤 敬子(昭和48年卒)

■副会長・事務局長/大日方聖信(昭和62年卒)

相馬 晶夫(昭和54年卒) 増田 光(昭和59年卒)

■副 会 長/池沢なるみ(昭和48年卒)

■会 計/内籙恭子(昭和55年卒)

■監 査/井坂由美子(昭和47年卒) 岩村礼子(昭和49年卒)

寺北ゆかり(昭和61年卒)

■会 報/佐藤誠一郎(昭和53年卒)

## 《編集後記》

●SELDAAの総会が5月に開かれました。25年ぶりに旧友たちと会い、長い間忘れていたことが思い出されました。

会長職、役不足ですが、私なりに頑張りたいと思います。(M.K.)

●会報を通して、旧友とのコミュニケーションに役立てましょう。(S.S.)